

近江八幡警察署協議会議事録

開催日時	令和3年6月11日（金）午後3時～午後5時	
開催場所	近江八幡警察署 5階大会議室	
出席者	委員	村井幸之進委員、谷村明美委員、水敬造委員、川端咲子委員 大橋裕子委員、山本勝士委員 計6人
	警察	署長、副署長、警務調査官、会計調査官、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長 計9人
議事概要	<p>1 委嘱状伝達 署長から各委員に協議会委員委嘱状が伝達された。</p> <p>2 会長選出・副会長指名 令和3年度の近江八幡警察署協議会会長に村井幸之進委員が選出され、副会長に谷村明美委員が指名された。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 署員による体験記発表 交通課員が交通死亡事故の遺族対応について、生活安全課員が少年事件の家族対応について被害者支援等体験記の発表を行った。</p> <p>(2) 体験記の感想</p> <p>○交通課員の発表について</p> <p>（委員） 遺品を見つけたということがすごい。警察の方は色々な場面に遭遇し、幅広く取り扱うので大変だと思うが、そんな中でも、心を一番に大事にし、自身が温かく血の通った人間であることが大事と思った。</p> <p>（委員） それぞれの立場に立って一つ一つ丁寧に対応し、被害者に寄り添うことが大事であると気付かされた。尊い、良い発表であった。</p> <p>（委員） 交通事故で亡くなるのは突然の事で、感情が動かなくなる。そんな時に寄り添ってもらえて遺族は嬉しかったと思う。</p> <p>（委員） 色々な思いの詰まった遺品を探して見つけてもらえたことは、被害者、遺族にとって有り難いことだったと思う。</p> <p>（委員） 被害者が亡くなれば、この遺品は家族の中では特別大事なものだのだろう。遺族にとっては形見であり、業務が忙しい中、後回しにせず、すぐに見つけてもらえて有り難かったと思う。</p>	

○生活安全課員の発表について

(委員)

家族全員が被害者で、とても考えさせられた。

(委員)

母親から「生まなければ良かった」と言われ、普通なら人には言いづら
いような心情を少年から聞き出したという点で、発表者は少年にきちんと
寄り添って対応をされたのだろうと感じた。

(3) 業務概要説明

ア 生活安全課長から管内の犯罪発生状況と少年非行の現状について説明
があった。

(委員)

コロナによって商業施設も閉まっていると思うが、犯罪の発生状況につ
いて影響はあるのか。取り扱いの中で、いつもと違うところはあるのか。

(警察)

コロナの影響で外出ができなくなり、DV被害が全国的に増加している。
また、18歳以下の子どもの前で暴力を振るうことも心理的虐待となり、
これについても増加傾向にある。逆に少年非行は減少傾向にある。

(警察)

窃盗に関しては、コロナによる影響はあまりない。近江八幡駅前交番は
変わらず犯罪発生率が高い。

(委員)

これから夏休みに入るので、少年犯罪が増えていくと思われるが、何か
対策はあるのか。

(警察)

普段から交番・駐在所勤務員による街頭指導を強化し、非行の芽を早期
に摘むようにしている。

(委員)

発生した特殊詐欺2件の内容を教えてほしい。

(警察)

1件目は預貯金詐欺であり、通帳やカードをだまし取り、そこから現金
を引き出されたもので、今回の被害者は高齢の女性、被害金は約30万円で
あった。

2件目は架空請求詐欺であり、パソコンにウイルスが侵入し、解決する
のにお金が必要なので、コンビニでカードを購入するよう指示されたもの
で被害者は中年の女性、被害金は約220万円であった。

(委員)

今までは高齢者が騙されやすいという印象だったが、今は変わってきて

いる。過去にない新しい事例があれば、それを市民に伝達して注意を促してほしい。

(警察)

今月15日の年金支給日に管内金融機関で啓発活動を実施するが、今後も積極的に啓発を実施していく。特殊詐欺については、県下的に見ても趣向・手口を変えてきており、当署にも毎日のように相談の電話があるが、都度注意を促している。

(委員)

何かあればすぐに警察に相談するよということ。

ところで、自転車盗については無施錠が多いのか。

(警察)

自転車盗被害の約7割は無施錠である。二重に施錠してもらうことも重要で、先日6月9日に「69(ロック)の日」ということで自転車の施錠を呼びかける啓発を実施した。

イ 交通課長から5月までの当署管内人傷事故の発生状況について説明があった。

(委員)

死亡事故の事故状況は。

(警察)

1件目は本年1月19日午後2時頃、天候は降雪で、西生来町の国道8号から1本入った中道。田んぼに囲まれた非常に見通しのよい十字路で20歳代男性の運転する車と70歳代女性の運転する車との出会い頭事故。70歳代女性が亡くなられた。

2件目は市役所前の道路で、近江八幡警察署方向へ進行中の軽四トラックが前を走る原付バイクに追突、原付バイク運転の女性が亡くなられた。

(委員)

事故の中で、子どもの関係する事故の割合は。

(警察)

子どもが絡む事故は一割程度である。歩行中や自転車乗車中に自動車と接触する事故が発生している。

(警察)

人傷事故については、昨年より増加しているが、昨年はコロナの影響で交通量が激減し、事故が減少していた。今年は事故が例年同等件数発生している。

(委員)

レッドゾーンでの発生件数は多いのか。

(警察)

国道8号、湖周道路、県道2号線、近江八幡駅周辺の所謂レッドゾーンでの発生は全体の約1割を占めている。

ちなみに昨年5月の発生件数は約80件で、4年前の半分程度まで激減している。

(委員)

物損事故の件数も同じような傾向なのか。

(警察)

同様に事故件数は増加している。昨年はコロナの影響で昭和41年以降最大の減少率であったが、今年は昨年に比べて増加している。当署管内には大型商業施設等もあり、他府県から多くの人を訪れることも多少影響している。

ウ 刑事課長から、本年1月から現在までの主な事件

○持続化給付金制度を悪用した詐欺事件の検挙

○窃盗常習者による空き家対象の窃盗事件の検挙

○薬物事犯の検挙

について説明があった。

(委員)

持続化給付金不正受給の犯人が東京にいたということだが、近江八幡との関わりはどういったものなのか。

(警察)

犯人グループの一人(不正申請者)が当署に出頭してきたことで、捜査を開始した。この種の事案はSNS等を通してやりとりをするため、広域的で、犯人は全国に点在している。今回の事件のリーダーは東京におり、他の者は滋賀県や隣接県にいた。

(委員)

他の警察署と連携して捜査することもあるのか。

(警察)

他署にも出頭してくる者がいて、調べた結果、同じグループであると判明すれば効率化を図るため合同で捜査することがある。

(委員)

空き家の窃盗だが、付近に空き家が増えているので怖い。今回の早期逮捕は素晴らしい。

(委員)

今日、野焼きを見たが、これはすべて違法なのか。

(警察)

本日発生の野焼きは、麦を焼いていたもので、これは除外事由となる。

そのため、注意喚起の声かけを実施している。

(委員)

警察官に対するコロナワクチンの接種状況は。

(警察)

現在、報道されているように、7月下旬頃から接種が始まる予定であるが、現在、県警察本部が調整中である。

(委員)

警察官への接種を優先すべき。

(委員)

夏になると暴走族が増えてくるが、何か対策は。

(警察)

情報を早期に入手して警戒取締りに当たる。また、積極的に事件化していきたいので、協力願いたい。

(委員)

本日は、これで議事を終わる。

4 その他

次回の協議会は、9月中旬に実施する予定となった。